

# 広島地区高等学校春季陸上競技選手権大会

期日 平成28年5月6日(金)～5月8日(日)

場所 コカコーラウエスト広島スタジアム

## 女子成績

## 総合準優勝

## トラック優勝

200m	第4位	岡山	遙菜 ②	27秒08	-3.1m
400m	第1位	池崎	愛里 ③	55秒45	大会新記録
800m	第6位	岡山	遙菜 ②	1分00秒35	
	第1位	池崎	愛里 ③	2分10秒69	大会新記録
	第2位	徳重	夢乃 ①	2分17秒78	
1500m	第3位	坂江	茜音 ②	2分18秒98	
	第1位	本間	宙峰 ②	4分41秒08	
	第2位	平岡	美帆 ①	4分42秒11	
3000m	第4位	坂江	茜音 ②	4分49秒43	
	第1位	本間	宙峰 ②	10分05秒05	
	第6位	松本	萌恵 ①	10分25秒91	
400mR	第3位	岡山②-西谷③-上田②-池崎③	49秒78		
1600mR	第1位	岡山②-上田②-徳重①-池崎③	3分54秒17	大会新記録	
走高跳	第6位	森脇	葵 ③	1m40	

今年もインターハイへ向けて予選会が始まりました。今年初の対校戦は総合準優勝・トラック優勝と、舟入にとってかなりの好スタートを切ることができました。400m・800mでは池崎さんが大会記録を更新。1600mRにおいても従来の記録を3秒以上更新する大会新記録の活躍をみせました。さらに本間さんの1500m・3000mの2冠を皮切りに400m・3000mにおいてW入賞、800m・1500mにおいてトリプル入賞することができました。1年生の果敢な走りも光り、県総体でも更なる活躍を目指します。



上:1600mR 優勝！ 下:1500m で果敢に引っ張る舟入の3人



### 女子 800m で 1、2、3 位表彰台独占

池崎はひとりで淡々と大会新記録を狙ったが、後続は混戦。すると残り300mで坂江が前へ。他校の選手が離される中唯一徳重が坂江の後方へ着いて2位を争う展開に。ラストの直線勝負となり徳重が先着。個人の最終種目での表彰台独占に、ゴール後歓声が上がった。3人でのIH出場を目指す。徳重・池崎・坂江。舟入の「F」らしい…



徳重・池崎・坂江。舟入の「F」らしい…

# 広島地区高等学校春季陸上競技選手権大会

期日 平成28年5月6日(金)～5月8日(日)

場所 コカコーラウエスト広島スタジアム

## 男子成績

200m	第6位	市来	陸 ③	23秒40	-3.7m
800m	第6位	伊豫田	達弥 ①	2分02秒13	(準決勝1分59秒45)
	第8位	田村	颯斗 ②	2分02秒60	(準決勝2分01秒08)
5000mW	第4位	福原	拓実 ②	24分33秒47	
やり投	第3位	河野	颯平 ②	50m 76	

今年度は男子も活躍することができました。初日の5000m競歩において2年生の福原君が自己記録を1分30秒近く更新する歩きで見事な4位入賞。3位の表彰台まであと3秒ということもあり嬉しくもあり悔しくもある結果となりました。そして同じく初日の男子1500m。2年生の田村君と1年生の伊豫田君が予選を突破。決勝では伊豫田君が上級生に物怖じしない大胆な走りで見事な後続を突き放し独走。ラスト300mで後ろの集団に追いつかれ9位と入賞にはなりませんでしたが、収穫のあるレースでした。

2日目に行われたやり投げでは、河野君が自己記録を5m更新しての見事な3位入賞を果たし表彰台に乗りました。

最終日には、200mにおいて3年生の市来君が向かい風が強い中、6位に入賞。初入賞に笑顔がこぼれました。そして準決勝に3人駒を進めた男子800m。3年生の宮瀬君が全体9位で惜しくも決勝進出にはなりませんでしたが田村君と伊豫田君が800mでも残りました。目標には届きませんでしたがダブル入賞という快挙を達成しました。

男女ともに多くの部員が県総体への出場権を獲得することができたので、県総体に向けてさらに頑張ります。



強者が薙めく200mで6位入賞した市来



1500m2位の平岡(左)・優勝の本間(右)と競歩4位に入った福原

### 河野がやり投で初の表彰台！

中学の頃は野球部。陸上は高校入学時に始めた河野。普段の練習では、ムードメーカーとして大きな声でみんなを引っ張って活気づけている。そんな河野が今年に入り初の記録会で45mに記録を伸ばした。2戦目となったこの地区総体では更に5m伸ばし、見事な3位入賞。各地区予選を見ても50mスローワーは河野含めて4人。6位入賞することができれば中国大会へ駒を進めることができる。岡山IHへ1歩近づいた。



見事な3位入賞&50mオーバー！